

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	音楽・音響処理特論		
英文授業科目名	Advanced Topics on Music Acoustics		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報通信工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻		
担当教官名	守谷 健弘		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
moriya.takehiro@lab.ntt.co.jp	

【主題および達成目標】
<p>現在日常生活に浸透しつつあるデジタル音楽音響技術の内容の理解を深め、関心を高めてもらうことを目指す。これにより絶え間なく発展を続けるネットワーク情報社会の中で、次世代の便利で品質の高い音楽音響、音声通信サービスを設計展開できるための見識を養ってもらうことを期待する。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
<p>参考書：音声符号化 守谷健弘著 電子情報通信学会、 デジタル音声・オーディオ技術 北脇 信彦編 電気通信協会</p>

【授業内容とその進め方】
<p>日常生活の中の標準化技術、 情報圧縮の基礎、 音響信号処理の基礎、 時間領域の符号化、 周波数領域の符号化、 携帯電話とVoIP 携帯プレーヤとデジタル放送、 ロスレス符号化、 サラウンド符号化</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

提出レポート内容で評価。出席6回未満は不可。

【オフィスアワー：授業相談】

質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

MP3は15年前に作られたMPEGの国際標準です。携帯電話やデジタル放送も含めて日常生活に欠かせなくなった音楽や音声にかかわる符号化や信号処理について、最新の標準化動向やエピソードも含めて紹介します。

【その他】